

デジタル写真管理情報基準（案）

（適用）

- 1 . デジタル写真管理情報基準（案）は、工事写真等（工事・測量・調査・地質・広報・設計）を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたものである。

（属性情報）

- 2 . 写真管理・活用に用いる属性情報は基礎情報、工事情報および写真情報とする。
基礎情報とは、電子媒体や利用ソフトウェアなどの基礎的な項目を示し、工事情報とは、工事件名等工事に関する項目を示し、写真情報とは、個々の工事写真に関する項目を示す。
なお、属性情報の詳細項目、内容、記入方法を別紙 - 1 に示す。

（フォルダ構成）

- 3 . フォルダ構成は図 - 1 に示すものとする。
「PHOTO」フォルダの直下に「PIC」と「DRA」のフォルダを置くものとする。
「PIC」とは、撮影した工事写真ファイルを保管するフォルダを示し、「DRA」とは、参考図ファイルを保管するフォルダを示す。なお、参考図とは、撮影位置、撮影状況等の説明に必要な撮影位置図、平面図、凡例図、構造図等である。

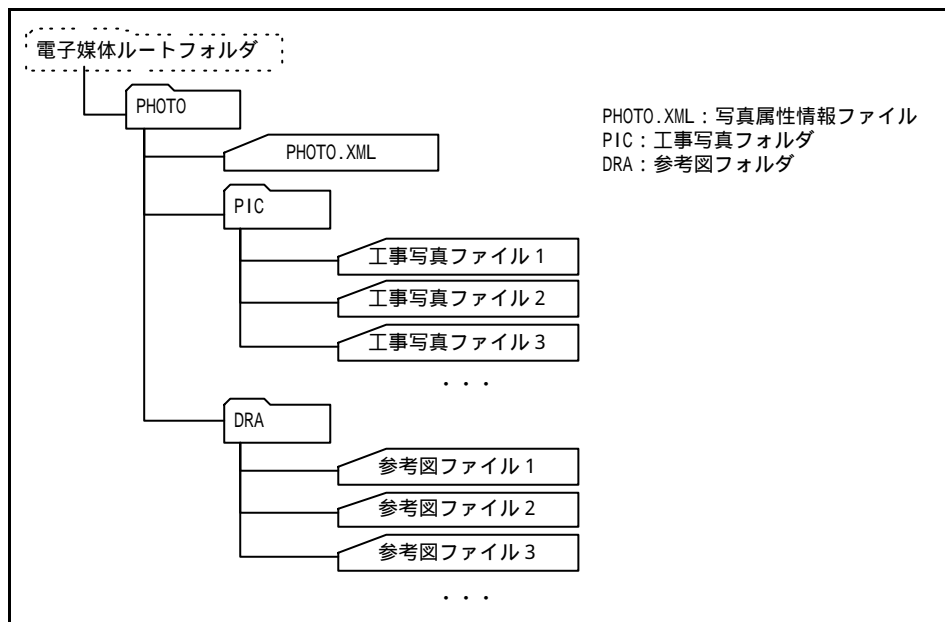


図 - 1 写真管理フォルダ構成図（フォルダ作成の留意事項）

- 4 . フォルダ作成にあたっては以下のように行う。
 - (1) フォルダ名称は半角英大文字とする。
 - (2) 工事写真フォルダ(PIC)、及び参考図フォルダ(DRA)直下に直接対象ファイルを保存し、階層分けは行わない。

(ファイル仕様)

5. 工事写真ファイル、参考図ファイル、写真属性ファイルの仕様は以下のものとする。

(1) 工事写真ファイルの仕様

記録形式は JPEG とし、非圧縮～圧縮率 1 / 8 までとする。

ファイル名称は半角 80 文字以内(拡張子 ".JPG" を含む)、半角英数大文字と全角文字を混在して使用可能とし、同一媒体に記録する他のファイル名と重複しないこととする。

(2) 参考図ファイルの仕様

記録形式は JPEG とし、解像度は必要な文字・記号が読めることとする。ファイル名称は、半角 80 文字以内(拡張子 ".JPG" を含む)、半角英数大文字と全角文字を混在して使用可能とし、同一媒体に記録する他のファイル名と重複しないこととする。

(3) 写真属性ファイル

写真属性ファイルとは、2 の属性情報を記録するファイルであり、「PHOTO」フォルダの直下に保存するものとする。

保存形式は XML(*1) 文書 (XML バージョン 1.00 に準拠) とし、ファイル名称を半角英大文字で「PHOTO.XML」とする。

本 XML 文書で用いる DTD(*2)を別紙 - 2 に示す。

(4) 使用文字コード等

本 XML 文書に使用する文字コードはシフト JIS コードで規定されている文字とする。

ただし、以下の文字の使用を禁止する。

- ・ XML の予約文字
- ・ 全角英数文字
- ・ 半角カナ文字
- ・ TAB コード
- ・ 改行コード
- ・ 機種に依存する文字 (シフト JIS コード 8540 から 889E まで、および ED40 以降の文字)

例) , , , ,mm,*□, など

(5) 画像編集等

画像の信憑性を考慮し、原則として画像編集は認めない。

ただし、監督員の承諾を得た場合は、回転、パノラマ、全体の明るさの補正程度は認めることとする。

(電子媒体)

6. 電子媒体は、CD-ROMを原則とし、提出時における有効画素数を80万画素以上としなければならない。ただし、これ以外の電子媒体の場合については、監督員の承諾を得るものとする。

(撮影機材)

7. 電子媒体による写真については、必要な文字、数値等の内容の判読ができる機能、精度を確保できる撮影機材を用いるものとする。(有効画素数80万画素以上、プリ

ンターはフルカラー300dpi以上、インク・用紙等は通常の使用条件のもとで3年間程度に顕著な劣化が生じないものとする。)

(電子媒体が複数枚の時の取り扱い)

8. 一連のまとまった写真が、複数枚のメディアに分割される場合には、同一の「PHOTO.XML」ファイルを各電子媒体へ保存する。個別に独立した内容の場合には、媒体毎に独立した「PHOTO.XML」ファイルとすることができるが、むやみに分割することは好ましくない。

用語

*1)XML

eXtensible Markup Language (拡張型構造化記述言語)

文字列をタグと呼ばれる<>で括った予約語で囲み、文書の整形や他文書へのリンクを記述する。

文書の構造を DTD というファイルに定義することで、表現方法の指定や文章中の文字列に意味を付加する独自のタグを拡張定義できることに特徴がある。

*2)DTD

Document Type Definitions (文書型定義)

フォントや文字サイズ等文書の表現方法の指定や特定の意味を付加するタグを定義するためのファイル。

電子媒体による工事写真管理項目の記入方法について

1. 項目一覧

1.1 基礎情報

	カテゴリー	項目名	概要	データ表現	データ長	必要度
1	媒体情報	DTDバージョン	適用したDTDのバージョン	半角数字	127	
2		写真フォルダ名	工事写真を格納するフォルダ名称	半角英数大文字	127	
3		参考図フォルダ名	参考図を格納するフォルダ名称	半角英数大文字	127	
4		媒体情報予備	媒体情報予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	
5	ソフトウェア情報	ソフトウェア名	写真管理ソフトウェア名	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	
6		バージョン情報	写真管理ソフトウェアバージョン情報	半角英数字	127	
7		メーカー名	ソフトウェアメーカー名	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	
8		メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
9		ソフトメーカー用TAG	ソフトウェア情報予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	

1.2 工事情報

	カテゴリー	項目名	概要	データ表現	データ長	必要度
1	工事件名等	発注年度	工事発注年度	半角数字	4	
2		工事番号	発注者が定める工事番号	半角数字	127	
3		河川路線名等	工事対象の河川・路線名称等	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	
4		工事名称	工事件名	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
5		工事箇所	工事の施工箇所	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	
6		工期開始日	工期の開始年月日	半角数字	8	
7		工期終了日	工期の終了年月日	半角数字	8	
8	発注者情報	発注者 - 大分類	発注者の団体名など	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	32	
9		発注者 - 中分類	発注者の部局名など	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	32	
10		発注者 - 小分類	事務所名など	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	32	
11		発注者コード	CORINSで使用する発注者コード	半角数字	8	
12	請負者情報	請負者名	請負者の正式名称	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
13		請負者コード	発注者が定める請負者コード	半角数字	127	
14	その他	発注者備考	発注者備考欄	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
15		請負者備考	請負者備考欄	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	

1.3 写真情報

	カテゴリー	項目名	概要	データ表現	データ長	必要度	
1	写真ファイル情報	シリアル番号	工事写真通し番号	半角数字	15		
2		写真ファイル名	工事写真ファイルの名称	全角文字(ただし英数字は半角大文字のみ)	80		
3		メディア番号	工事写真のメディア番号	半角数字	8		
4		写真整理フラグ	提出用写真などの整理用フラグ	半角数字	1		
5		写真ファイル情報予備	写真ファイルに関する予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255		
6	撮影工種区分	写真：大分類	写真を撮影した業務の種別	全角文字(ただし英数字は含まない)	16		
7		写真区分	写真管理区分：着手前完成・施工状況・材料・安全・品質・出来形等	全角文字(ただし英数字は含まない)	32		
8		工種	新土木積算体系のレベル2等	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	40		
9		種別	新土木積算体系のレベル3等	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	40		
10		細別	新土木積算体系のレベル4等	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	40		
11		写真タイトル	写真の撮影内容、撮影項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	80		
12		工種区分予備1	工種区分に関する予備項目		全角文字(ただし英数字は半角のみ)	40	
		工種区分予備2	〃		全角文字(ただし英数字は半角のみ)	40	
	工種区分予備3	〃		全角文字(ただし英数字は半角のみ)	40		

13	付加情報	参考図1	撮影位置図、凡例図等の参考図面のファイル名	全角文字(ただし英数字は半角大文字のみ)	80	
		参考図2	"	全角文字(ただし英数字は半角大文字のみ)	80	
		参考図3	"	全角文字(ただし英数字は半角大文字のみ)	80	
14		撮影箇所	測点位置、撮影内容、位置図面上の記号等	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	
15		付加情報予備	参考図等付加情報に関する予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
16	撮影情報	撮影年月日	写真を撮影した日付	半角数字	8	
17		フィルム番号	フィルム番号またはAPSカートリッジ番号	半角数字	8	
18		コマ番号	ネガのコマ番号	半角英数字	8	
19		撮影情報予備	日付、フィルム等撮影情報に関する予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
20	施工管理値	施工管理値	設計寸法及び実測寸法等	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
21		施工管理値予備	施工条件等施工管理値に関する予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
22	状況説明	状況説明予備	検査立会者、特記事項等状況説明に関する予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	

23	その他	請負者説明文	請負者側で写真につけるコメント	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
24		発注者説明文	発注者側で写真につけるコメント	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
25		写真情報予備1	その他予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
		写真情報予備2	"	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
		写真情報予備3	"	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	255	
26	MIME Type	写真MIME	工事写真ファイルのMIME Type設定	半角英数字	127	
27		参考図1-MIME	参考図ファイルのMIME Type設定	半角英数字	127	
		参考図2-MIME	"	半角英数字	127	
		参考図3-MIME	"	半角英数字	127	

必要度分類

: 必須記入。

: 条件付き必須記入。

: 任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

原本としてのみ提出する写真については、写真情報の 11 番目～ 25 番目の記入は任意とする。

2. 記入要領

2.1 記入方法

写真管理に用いる属性項目について、下記の書式で各項目の記入方法を示す。

項目名	(1)		
データ表現	(2)	データ長	(3)
概要	(4)		
記入必要度	(5)		
記入が必要な場合	(6)		
記入例	(7)		
XML表記例	(8)		
備考	(9)		
記入規則	(10)		

(1) 項目名

管理項目の名称。

(2) データ表現

各項目に記入する文字種はこの制限に従う。
記入可能なデータの形式。

- 1) 半角数字
半角数字のみ記入可（年・日付等）
- 2) 半角英数大文字
半角数字大文字のみ記入可（フォルダ名等）
- 3) 半角英数文字
半角英数字のみ記入可（バージョン番号）
- 4) 全角文字（ただし、英数字は含まない）
全角文字記号のみ記入可（写真区分等）
- 5) 全角文字（ただし、英数字は、半角大文字のみ）
全角文字記号、半角英数大文字のみ記入可（ファイル名等）
- 6) 全角文字（ただし、英数字は半角のみ）
全角文字記号、半角英数字を記入可（特に制限のないもの）

(3) データ長

記入可能な最大データ長を示す。

半角 1 文字で 1 データ長、全角文字 1 文字で 2 データ長とする。

また、常にこのデータ長で記入する必要がある項目については、(10) 記入規則に明示する。

(4) 概要

記入すべき内容など項目に関する概要を示す。

(5) 記入必要度

記入の必要度を 3 段階に分類し、各々の記入目安を下記の通りとする。

- 1) 必須記入項目
必ず記入すべき項目。
特に理由のない限り、必ず記入する。
- 2) 条件付き必須項目
原則として、記入すべき内容が明確である場合は必ず記入する。
場合によっては、記入すべき事項が明確でない場合があるので、その場合は空欄のまま提出する。
なお、空欄の項目については、PHOTO.XML ファイルに出力する必要はない。
- 3) 任意記入項目
原則として、記入の必要はなく空欄のまま提出する。
特記すべき事項があった場合のみ記入する。
なお、空欄の項目については、PHOTO.XML ファイルに出力する必要はない。

(6) 記入が必要な場合

条件付き必須項目、任意記入項目について、記入を行う条件を示す。

(7) 記入例

各項目について記入例を示す。

(8) XML 表記例

記入例で示した項目について、PHOTO.XML ファイルでの表記例を示す。

(9) 備考

記入内容など、各項目に関する補足を示す。

(10) 記入規則

記入できる文字に関する制限や記入すべきデータ長に関する制限など、記入規則に関わる制限事項を示す。

2.2 基礎情報

(1) DTDバージョン

項目名	DTDバージョン
データ表現	半角英数 データ長 127
概要	PHOTO.XMLファイルに対して適用したPHOTO.DTDのバージョン情報を記入する。
記入必要度	必須記入
記入が必要な場合	必須記入
記入例	PHOTO.DTDのバージョンが " 1.0 " の場合。 DTDバージョン : <input type="text" value="1.0"/>
XML表記例	<DTDバージョン>1.0</DTDバージョン>
備考	なし
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。

(2) 写真フォルダ名

項目名	写真フォルダ名
データ表現	半角英数大文字 データ長 127
概要	工事写真ファイルを保存するフォルダ名をPHOTO.XMLのフォルダに対する相対パスで記入する。
記入必要度	必須記入
記入が必要な場合	必須記入
記入例	次の通り記入する。 写真フォルダ名 : <input type="text" value="./PIC"/>
XML表記例	<写真フォルダ名>./PIC</写真フォルダ名>
備考	なし
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 XML規格に準拠し、フォルダは " / " (スラッシュ) で記述する。

(3) 参考図フォルダ名

項目名	参考図フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	データ長	127
概要	工事写真ファイルを保存するフォルダ名をPHOTO.XMLのフォルダに対する相対パスで記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 参考図フォルダ名： <input type="text" value=" ./DRA"/>		
XML表記例	<参考図フォルダ名> ./DRA </参考図フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 XML規格に準拠し、フォルダは"/"（スラッシュ）で記述する。		

(4) 媒体情報予備

項目名	媒体情報予備		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	127
概要	媒体情報に関する予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項があれば記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(5) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	127
概要	写真属性情報ファイルを作成した写真管理ソフトウェア名。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	PHOTO.XMLの作成及び修正に写真管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	写真管理ソフトウェア名が"建設省写真管理ソフト Ver.2.01A"であった場合。 ソフトウェア名： <input type="text" value=" 建設省写真管理ソフト"/>		
XML表記例	<ソフトウェア名>建設省写真管理ソフト</ソフトウェア名>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 PHOTO.XMLファイルを他の写真管理ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(6) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	データ長	127
概要	写真管理ソフトウェアのバージョン情報。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	PHOTO.XMLの作成及び修正に写真管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	写真管理ソフトウェアが”建設省写真管理ソフト Ver.2.01A”であった場合。 バージョン情報： <input type="text" value="Ver.2.01A"/>		
XML表記例	<バージョン情報>Ver.2.01A</バージョン情報>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 PHOTO.XMLファイルを他の写真管理ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(7) メーカー名

項目名	メーカー名		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	127
概要	写真属性情報ファイルを作成した写真管理ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカー名。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	PHOTO.XMLの作成及び修正に写真管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカー名が”システム株式会社”であった場合。 メーカー名： <input type="text" value="システム株式会社"/>		
XML表記例	<メーカー名>システム株式会社</メーカー名>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 PHOTO.XMLファイルを他の写真管理ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(8) メーカー連絡先

項目名	メーカー連絡先		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	写真属性情報ファイルを作成した写真管理ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	PHOTO.XMLの作成及び修正に写真管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカー連絡先が”東京都千代田区一番町1-1-1 TEL:03-1234-5678 FAX:03-8765-4321”であった場合。 東京都千代田区一番町1-1-1 TEL:03-1234-5678 FAX:03-8765-4321		
XML表記例	<メーカー連絡先>東京都千代田区一番町1-1-1 TEL 03-1234-5678 FAX 03-8765-4321</メーカー連絡先>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。PHOTO.XMLファイルを他の写真管理ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(9) ソフトメーカー用 TAG

項目名	ソフトメーカー用TAG		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	127
概要	ソフトウェアメーカー使用欄。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	同一ファイル中に複数の記入が可能とする。PHOTO.XMLを他の写真管理ソフトで修正した場合は、必要に応じて、上書きまたは削除する。		

2.3 工事情報

(1) 発注年度

項目名	発注年度		
データ表現	半角数字	データ長	4
内容	工事の発注年度を西暦で記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	平成13年度発注の工事の場合 発注年度： 2001		
XML表記例	<発注年度>2001</発注年度>		
備考	なし		
記入規則	必ず半角数字4桁で記入する。		

(2) 工事番号

項目名	工事番号		
データ表現	半角数字	データ長	127
概要	発注者が定める工事番号を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	茨城県土木部発注の工事の場合で、工事番号が12-03-001-0-001の場合を記入する。 工事番号： <input type="text" value="12030010001"/>		
XML表記例	<工事番号>12030010001</工事番号>茨城県土木部発注の工事の場合で、工事番号が12030010001の場合を記入する。		
備考	茨城県土木部の場合は11桁の工事番号を記入する。 他の発注機関の場合には、発注者の指示に従う。		
記入規則	なし		

(3) 河川・路線名等

項目名	河川・路線名等		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	127
概要	河川名、路線名等施工対象区域に関する記述。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	工事対象の河川・路線名等が明確である場合は記入する。		
記入例	主要地方道宇都宮笠間線に関わる工事の場合 河川・路線名等： <input type="text" value="主要地方道宇都宮笠間線"/> 一級河川桜川に関わる工事の場合 河川・路線名等： <input type="text" value="一級河川桜川"/> 国道118号と国道123号に関わる工事の場合 河川・路線名等： <input type="text" value="国道118号・国道123号"/>		
XML表記例	主要地方道宇都宮笠間線に関わる工事の場合 <河川路線名等>主要地方道宇都宮笠間線</河川路線名等> 一級河川桜川に関わる工事の場合 <河川路線名等>一級河川桜川</河川路線名等> 国道118号と国道123号に関わる工事の場合 <河川路線名等>国道118号・国道123号</河川路線名等>		
備考	複数の河川・路線等にまたがる工事の場合、関連する河川・路線名等を全て記入する。		
記入規則	河川路線名等は正式名称を記入する。		

(4) 工事名称

項目名	工事名称		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	工事件名を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工事名称が 橋上部工製作架設工事の場合 工事名称: <input type="text" value="橋上部工製作架設工事"/>		
XML表記例	工事名称が 橋上部工製作架設工事の場合 <工事名称> 橋上部工製作架設工事</工事名称>		
備考	なし		
記入規則	契約図書に記載されている、正式の工事名称を記入する。		

(5) 工事箇所

項目名	工事箇所		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	127
概要	工事の施工場所		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	水戸市笠原町の場合 工事箇所: <input type="text" value="水戸市笠原町"/> 鹿島郡銚田町安房の場合 工事箇所: <input type="text" value="鹿島郡銚田町安房"/>		
XML表記例	水戸市笠原町の場合 <工事箇所>水戸市笠原町</工事箇所> 鹿島郡銚田町安房の場合 <工事箇所>鹿島郡銚田町安房</工事箇所>		
備考	なし		
記入規則	契約図書に記載されている工事箇所を原則記入する。		

(6) 工期開始日

項目名	工期開始日		
データ表現	半角数字	データ長	8
概要	工期の開始日。西暦8桁で記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工期が平成13年11月6日より平成14年2月26日までの場合 工期開始日： 20011106		
XML表記例	<工期開始日>20011106</工期開始日>		
備考	なし		
記入規則	月日が1桁の数の場合"0"を付加して、必ず8桁で記入する。 例) 平成14年1月1日 "20020101"		

(7) 工期終了日

項目名	工期終了日		
データ表現	半角数字	データ長	8
概要	工期の終了日。西暦8桁で記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工期が平成13年11月06日より平成14年2月26日までの場合 工期終了日： 20020226		
XML表記例	<工期終了日>20020226</工期終了日>		
備考	なし		
記入規則	月または日が1桁の数の場合"0"を付加して、必ず8桁で記入する。 例) 平成14年1月1日 "20020101"		

(8) 発注者-大分類

項目名	発注者-大分類		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	32
概要	団体名など発注者に関する大分類を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	茨城県土木部水戸土木事務所の場合 発注者-大分類： 茨城県		
XML表記例	茨城県土木部水戸土木事務所の場合 <発注者-大分類>茨城県</発注者-大分類>		
備考	なし		
記入規則	略称を用いず、正式名称で記入する。		

(9) 発注者-中分類

項目名	発注者-中分類		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	32
概要	部局名など発注者に関する中分類を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	発注者の中分類が明確な場合記入する。		
記入例	茨城県土木部水戸土木事務所の場合 発注者-中分類： <input type="text" value="土木部"/>		
XML表記例	茨城県土木部水戸土木事務所の場合 <発注者-中分類>土木部</発注者-中分類>		
備考	発注者機関・団体によっては、中分類を必要としないこともある。		
記入規則	略称を用いず、正式名称で記入する。		

(10) 発注者-小分類

項目名	発注者-小分類		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	32
概要	事務所名など発注者に関する小分類を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	発注者の小分類が明確な場合記入する。		
記入例	茨城県土木部水戸土木事務所の場合 発注者-小分類： <input type="text" value="水戸土木事務所"/>		
XML表記例	茨城県土木部水戸土木事務所の場合 <発注者-小分類>水戸土木事務所</発注者-小分類>		
備考	茨城県で本庁契約の場合は、工事監督を行う事務所等名を記入する。		
記入規則	略称を用いず、正式名称で記入する。		

(11) 発注者コード

項目名	発注者コード		
データ表現	半角数字	データ長	8
概要	CORINSの発注者コード。 大分類(1桁)、中分類(2桁)、小分類(2桁)、細分類(3桁)をあわせ、8桁で取り扱う。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	茨城県土木部水戸土木事務所の場合 発注者コード： <input type="text" value="20801101"/>		
XML表記例	茨城県土木部水戸土木事務所の場合 <発注者コード>20801101</発注者コード>		
備考	CORINSとは、財団法人日本建設情報総合センターの運営する工事実績情報サービスをいい、発注者コードは同センターが提供している。		
記入規則	CORINSコードにしたがい、必ず半角8桁で記入する。		

(12) 請負者名

項目名	請負者名
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ) データ長 255
概要	請負者名の正式名称を記入する。JVの場合には、JVの正式名称及び代表会社名を続けて記入する。
記入必要度	必須記入
記入が必要な場合	必須記入
記入例	建設・組共同企業体(建設株式会社と株式会社組のJV)で、建設株式会社が代表の場合 請負者名： 建設・組共同企業体(代表：建設株式会社)
XML表記例	建設・組共同企業体(建設株式会社と株式会社組のJV)で、建設株式会社が代表の場合 <請負者名>建設・組共同企業体(代表：建設株式会社)</請負者名>
備考	なし
記入規則	正式名称を記入する。

(13) 請負者コード

項目名	請負者コード
データ表現	半角数字 データ長 127
概要	発注者が定める請負者コード。
記入必要度	条件付き必須記入
記入が必要な場合	発注者により請負者コードが定められている場合。 地方公共団体等で国土交通省の定めたコードを準用している場合も同様とする。
記入例	茨城県土木部への工事業者登録番号が“08123456”の場合 請負者コード：08123456
XML表記例	<請負者コード>08123456</請負者コード>
備考	発注者の運用している請負者コードを記入する。
記入規則	なし

(14) 発注者備考

項目名	発注者備考		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	施工内容等工事に関する備考欄		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	発注者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(15) 請負者備考

項目名	請負者備考		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	施工内容等工事に関する備考欄		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

2.4 写真情報

(1) シリアル番号

項目名	シリアル番号		
データ表現	半角数字	データ長	15
概要	電子写真の通し番号。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	写真ファイル " 0123出来形00001.jpg " が123枚目の写真のとき シリアル番号 : <input type="text" value="123"/>		
XML表記例	<シリアル番号>123</シリアル番号>		
備考	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。		
記入規則	シリアル番号は1より開始する。 提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けしても良い。 123枚目を、" 000123 " の様に0を付けて表現してはいけない。		

(2) 写真ファイル名

項目名	写真ファイル名		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角大文字のみ)	データ長	80
概要	電子写真ファイルのファイル名。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	写真ファイル名を " 0123出来形00001.JPG " とした場合 写真ファイル名 : <input type="text" value="0123出来形00001.JPG"/>		
XML表記例	<写真ファイル名>0123出来形00001.JPG</写真ファイル名>		
備考	なし		
記入規則	写真ファイル名には、拡張子4桁 (".JPG ") を付ける。		

(3) メディア番号

項目名	メディア番号		
データ表現	半角数字	データ長	8
内容	写真の含まれる電子媒体のメディア番号		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	3枚組CD-ROMの2枚目の場合 メディア番号 : <input type="text" value="2"/>		
XML表記例	<メディア番号>2</メディア番号>		
備考	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば、全て " 1 " となる。		
記入規則	半角数字のみ使用する。空欄不可。		

(4) 写真整理フラグ

項目名	写真整理フラグ		
データ表現	半角数字	データ長	1
概要	工事写真帳として提出する工事写真と原本としてのみ提出する工事写真を区分するフラグ。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	写真管理基準(案)等に基づき、工事写真を整理する場合に記入する。		
記入例	工事写真帳として提出する工事写真 写真整理フラグ： <input type="text" value="1"/> 原本としてのみ提出する工事写真 写真整理フラグ： <input type="text" value="0"/>		
XML表記例	工事写真帳として提出する工事写真 <写真整理フラグ>1</写真整理フラグ> 原本としてのみ提出する工事写真 <写真整理フラグ>0</写真整理フラグ>		
備考	なし		
記入規則	建設省への提出時には"0":撮影頻度によるもの/"1":提出頻度によるものとする。		

(5) 写真ファイル情報予備

項目名	写真ファイル予備		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	写真ファイルに関する予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(6) 写真：大分類

項目名	写真：大分類		
データ表現	全角文字(ただし英数字は含まない)	データ長	16
概要	工事・測量・調査・地質・広報・設計・その他など写真を撮影した業務の分類。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工事写真の場合 写真-大分類： <input type="text" value="工事"/>		
XML表記例	<写真-大分類>工事</写真-大分類>		
備考	なし		
記入規則	業務分類を工事・測量・調査・地質・広報・設計・その他とする。 工事写真は常に「工事」とのみ記入すること。例えば「道路工事」といった表記は不可。		

(7) 写真区分

項目名	写真区分		
データ表現	全角文字(ただし英数字は含まない)	データ長	32
概要	写真管理基準(案)の分類を記入する。 着手前及び完成写真(既済部分写真等を含む)・施工状況写真・安全管理写真・使用材料写真・品質管理写真・出来形管理写真・災害写真・その他(公害、環境、補償等)に分類される。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	着手前及び完成写真の場合 写真区分： <input type="text" value="着手前及び完成写真"/> 舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 写真区分： <input type="text" value="出来形管理写真"/>		
XML表記例	着手前及び完成写真の場合 <写真区分>着手前及び完成写真</写真区分> 舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 <写真区分>出来形管理写真</写真区分>		
備考	なし		
記入規則	大分類が「工事」の場合「着手前及び完成写真・工状況写真・安全管理写真・使用材料写真・品質管理写真・出来形管理写真・災害写真・その他」の区分のいずれかを全角文字で正しく記入する。 大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。		

(8) 工種

項目名	工種																		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ) データ長 40																		
概要	土木工事の場合、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。																		
記入必要度	条件付き必須記入																		
記入が必要な場合	<p>工種以下の分類が明確で記入可能であれば記入する。 写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。 写真分類ごとの目安は下記の通り。</p> <table border="0"> <tr> <td>(写真分類)</td> <td>(工種)</td> </tr> <tr> <td>・着手前及び完成写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・施工状況写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・安全管理写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・使用材料写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・品質管理写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・出来形管理写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・災害写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>：記入を必要とする。 ：記入可能な場合、記入を必要とする。 ×：記入不能であるため、記入は不要。空欄とする。</p>	(写真分類)	(工種)	・着手前及び完成写真	×	・施工状況写真		・安全管理写真		・使用材料写真		・品質管理写真		・出来形管理写真		・災害写真	×	・その他	×
(写真分類)	(工種)																		
・着手前及び完成写真	×																		
・施工状況写真																			
・安全管理写真																			
・使用材料写真																			
・品質管理写真																			
・出来形管理写真																			
・災害写真	×																		
・その他	×																		
記入例	<p>着手前及び完成写真の場合 工種： <input type="text"/></p> <p>舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 工種： <input type="text" value="舗装修繕工"/></p>																		
XML表記例	<p>着手前及び完成写真の場合 記入しない</p> <p>舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 <工種>舗装修繕工</工種></p>																		
備考	なし																		
記入規則	土木工事の場合には、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。但し、新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。																		

(9) 種別

項目名	種別																		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ) データ長 40																		
概要	土木工事の場合、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。																		
記入必要度	条件付き必須記入																		
記入が必要な場合	<p>工種以下の分類が明確で記入可能であれば記入する。 写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。 写真分類ごとの目安は下記の通り。</p> <table border="0"> <tr> <td>(写真分類)</td> <td>(種別)</td> </tr> <tr> <td>・着手前及び完成写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・施工状況写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・安全管理写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・使用材料写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・品質管理写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・出来形管理写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・災害写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>○ : 記入を必要とする。 ○ : 記入可能な場合、記入を必要とする。 × : 記入不能であるため、記入は不要。空欄とする。</p>	(写真分類)	(種別)	・着手前及び完成写真	×	・施工状況写真		・安全管理写真	×	・使用材料写真		・品質管理写真	×	・出来形管理写真		・災害写真	×	・その他	×
(写真分類)	(種別)																		
・着手前及び完成写真	×																		
・施工状況写真																			
・安全管理写真	×																		
・使用材料写真																			
・品質管理写真	×																		
・出来形管理写真																			
・災害写真	×																		
・その他	×																		
記入例	<p>着手前及び完成写真の場合 種別 : <input type="text"/></p> <p>舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 種別 : <input type="text" value="舗装打換え工"/></p>																		
XML表記例	<p>着手前及び完成写真の場合 記入しない</p> <p>舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 <種別>舗装打換え工</種別></p>																		
備考	なし																		
記入規則	土木工事の場合には、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。但し、新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。																		

(10) 細別

項目名	細別																		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ) データ長 40																		
概要	土木工事の場合、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。																		
記入必要度	条件付き必須記入																		
記入が必要な場合	<p>工種以下の分類が明確で記入可能であれば記入する。 写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。 写真分類ごとの目安は下記の通り。</p> <table border="0"> <tr> <td>(写真分類)</td> <td>(細別)</td> </tr> <tr> <td>・着手前及び完成写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・施工状況写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・安全管理写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・使用材料写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・品質管理写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・出来形管理写真</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・災害写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>○ : 記入を必要とする。 ○ : 記入可能な場合、記入を必要とする。 × : 記入不能であるため、記入は不要。空欄とする。</p>	(写真分類)	(細別)	・着手前及び完成写真	×	・施工状況写真		・安全管理写真	×	・使用材料写真		・品質管理写真	×	・出来形管理写真		・災害写真	×	・その他	×
(写真分類)	(細別)																		
・着手前及び完成写真	×																		
・施工状況写真																			
・安全管理写真	×																		
・使用材料写真																			
・品質管理写真	×																		
・出来形管理写真																			
・災害写真	×																		
・その他	×																		
記入例	<p>着手前及び完成写真の場合 細別 : <input type="text"/></p> <p>舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 細別 : <input type="text" value="下層路盤"/></p>																		
XML表記例	<p>着手前及び完成写真の場合 記入しない</p> <p>舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 <細別>下層路盤</細別></p>																		
備考	なし																		
記入規則	土木工事の場合には、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。但し、新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。																		

(11) 写真タイトル

項目名	写真タイトル		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	80
概要	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、及び撮影時期に相当する内容を記入する。		
記入必要度	必須記入 ただし、原本としてのみ提出する写真については任意記入とする。		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	着手前及び完成写真の場合で、養浜工部の着手前の場合 写真タイトル： <input type="text" value="養浜工部：着手前"/>		
	舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 写真タイトル： <input type="text" value="路盤(1層目)出来形測定"/>		
XML表記例	着手前及び完成写真の場合で、養浜工部の着手前の場合 <写真タイトル>養浜工部：着手前</写真タイトル>		
	舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 <写真タイトル>路盤(1層目)出来形測定</写真タイトル>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(12) 工種区分予備1～3

項目名	工種区分予備1,工種区分予備2,工種区分予備3		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	40
概要	積算体系の区分変更に対応するための予備項目である。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	積算体系の区分変更に対応するための予備項目である。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	積算体系の区分変更に対応するための予備項目である。		
記入規則	なし		

(13) 参考図 1 ~ 3

項目名	参考図1, 参考図2, 参考図3					
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角大文字のみ)	データ長	80			
概要	工事写真の撮影位置を示す位置図面等のファイル名を記入する。					
記入必要度	条件付き必須記入 ただし、原本としてのみ提出する写真については任意記入とする。					
記入が必要な場合	小黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該工事写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。					
記入例	工事写真に位置平面図、構造図、作業フロー図が添付されていた場合。 参考図 1 : <table border="1" data-bbox="683 846 1058 882"><tr><td>位置平面図0001.JPG</td></tr></table> 参考図 2 : <table border="1" data-bbox="683 887 1058 922"><tr><td>構造図0001.JPG</td></tr></table> 参考図 3 : <table border="1" data-bbox="683 927 1058 963"><tr><td>作業フロー図0001.JPG</td></tr></table>			位置平面図0001.JPG	構造図0001.JPG	作業フロー図0001.JPG
位置平面図0001.JPG						
構造図0001.JPG						
作業フロー図0001.JPG						
XML表記例	<参考図1>位置平面図0001.JPG</参考図1> <参考図2>構造図0001.JPG</参考図2> <参考図3>作業フロー図0001.JPG</参考図3>					
備考	参考図ファイルはJPEG形式で、必要な情報が判読できるものとする。					
記入規則	参考図ファイル名には、拡張子4桁(".JPG")を付ける。					

(14) 撮影箇所

項目名	撮影箇所		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	127
概要	当該工事写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入 ただし、原本としてのみ提出する写真については任意記入とする。		
記入が必要な場合	小黑板に記した図等の判読が困難など施工状況確認に必要な場合記入する。		
記入例	道路修繕工事の着手前及び完成写真の場合 撮影箇所： <input type="text" value="起点より終点方向"/> 舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 撮影箇所： <input type="text" value="測点：1L"/>		
XML表記例	道路修繕工事の着手前及び完成写真の場合 <撮影箇所>起点より終点方向</撮影箇所> 舗装打換え工下層路盤の出来形管理写真の場合 <撮影箇所>測点：1L</撮影箇所>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(15) 付加情報予備

項目名	付加情報予備		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	参考図、撮影箇所等の付加情報に関する予備項目		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(16) 撮影年月日

項目名	撮影年月日
データ表現	半角数字 データ長 8
概要	写真を撮影した日付。西暦8桁で記入する。
記入必要度	条件付き必須記入 ただし、原本としてのみ提出する写真については任意記入とする。
記入が必要な場合	品質検査等、工程上、撮影日が確定している場合に記入する。
記入例	検査実施日が平成11年2月3日までの場合 撮影年月日： <input type="text" value="19990203"/>
XML表記例	<撮影年月日>19990203</撮影年月日>
備考	なし
記入規則	月または日が1桁の数の場合"0"を付加して、必ず8桁で記入する。 例)平成11年1月1日 "19990101"

(17) フィルム番号

項目名	フィルム番号
データ表現	半角数字 データ長 8
概要	フィルム番号またはAPSカートリッジ番号を記入する。
記入必要度	条件付き必須記入 ただし、原本としてのみ提出する写真については任意記入とする。
記入が必要な場合	工事写真を銀塩写真フィルムよりスキャナ入力し、あわせて原本をネガアルバムで提出する場合に記入する。
記入例	フィルム番号が"327061"の場合 フィルム番号： <input type="text" value="327061"/> APSカートリッジ番号が"416-217"の場合 フィルム番号： <input type="text" value="416217"/>
XML表記例	フィルム番号が"327061"の場合 <フィルム番号>327061</フィルム番号> APSカートリッジ番号が"416-217"の場合 <フィルム番号>416217</フィルム番号>
備考	スキャナの分解能は80万画素のデジタル写真以上とする。
記入規則	APSカートリッジの場合は、"- "(ハイフン)を除く。

(18) コマ番号

項目名	コマ番号
データ表現	半角英数字 データ長 8
概要	銀塩写真のコマ番号を記入する。
記入必要度	条件付き必須記入 ただし、原本としてのみ提出する写真については任意記入とする。
記入が必要な場合	工事写真を銀塩写真フィルムよりスキャナ入力し、あわせて原本をネガアルバムで提出する場合記入する。
記入例	35mmサイズで「2」と「2A」にかかっている場合は コマ番号： <input type="text" value="2"/> 35mmサイズで「3A」と「4」にかかっている場合は コマ番号： <input type="text" value="4"/> ハーフサイズで24Aにかかっている場合は コマ番号： <input type="text" value="24A"/>
XML表記例	35mmサイズで「2」と「2A」にかかっている場合は <コマ番号>2</コマ番号> 35mmサイズで「3A」と「4」にかかっている場合は <コマ番号>4</コマ番号> ハーフサイズで24Aにかかっている場合は <コマ番号>24A</コマ番号>
備考	なし
記入規則	なし

(19) 撮影情報予備

項目名	撮影情報予備
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ) データ長 255
概要	撮影日、フィルム等撮影情報に関する予備項目。
記入必要度	任意記入
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。
記入例	- 省略 -
XML表記例	- 省略 -
備考	なし
記入規則	なし

(20) 施工管理値

項目名	施工管理値		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	設計寸法及び実測寸法等を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入 ただし、原本としてのみ提出する写真については任意記入とする。		
記入が必要な場合	小黑板の判読が困難な場合記入する。		
記入例	小黑板に書かれたAs舗装の設計寸法が400mmで、実測寸法が405mmの場合 施工管理値： <input type="text" value="As舗装：設計寸法400mm・実測寸法405mm"/>		
XML表記例	小黑板に書かれたAs舗装の設計寸法が400mmで、実測寸法が405mmの場合 <施工管理値> As舗装：設計寸法400mm・実測寸法405mm </施工管理値>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(21) 施工管理値予備

項目名	施工管理値予備		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	設計値、実測値等、施工管理値に関する予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	黑板情報を補足する必要がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(22) 状況説明予備

項目名	状況説明予備		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	検査立会者、特記事項等、状況説明に関する予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(23) 請負者説明文

項目名	請負者説明文		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	その他、写真に関して請負者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(24) 発注者説明文

項目名	発注者説明文		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	その他、写真に関して発注者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	発注者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(25) 写真情報予備 1 ~ 3

項目名	写真情報予備1,写真情報予備2,写真情報予備3		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	データ長	255
概要	その他予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	説明文以外で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	- 省略 -		
XML表記例	- 省略 -		
備考	なし		
記入規則	なし		

(26) 写真 MIME

項目名	写真MIME
データ表現	半角英数字 データ長 127
概要	工事写真ファイルのMIME型を定義する。
記入必要度	必須記入
記入が必要な場合	必須記入
記入例	写真ファイルはJPEG形式であるので 写真MIME : <input type="text" value="image/jpeg"/>
XML表記例	<写真MIME>image/jpeg</写真MIME>
備考	なし
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。

(27) 参考図 1 ~ 3-MIME

項目名	参考図1-MIME, 参考図2-MIME, 参考図3-MIME
データ表現	半角英数字 データ長 127
概要	参考図ファイルのMIME型を定義する。
記入必要度	条件付き必須記入
記入が必要な場合	参考図を添付した場合記入する。
記入例	参考図ファイルはJPEG形式であるので 参考図1-MIME : <input type="text" value="image/jpeg"/> 参考図2-MIME : <input type="text" value="image/jpeg"/> 参考図3-MIME : <input type="text" value="image/jpeg"/>
XML表記例	<参考図1-MIME>image/jpeg</参考図1-MIME> <参考図2-MIME>image/jpeg</参考図2-MIME> <参考図3-MIME>image/jpeg</参考図3-MIME>
備考	なし
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。